

平成19年度 分野チェックリスト

分野名	健康・福祉分野		分野番号	3
分野担当部	保健福祉部	関連部	政策経営部、環境清掃部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			16年度	17年度	18年度	22	年度末
1	国民健康保険加入者1人あたり医療給付費 (地域差指数 = 全国平均1)	全国平均 = 1	0.933	0.937		減少させる	
2	公共施設バリアフリー度	%	45.3	45.9	47.1	60	
3	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	1年3ヵ月	1年1ヵ月	9ヵ月	6ヵ月以内	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	79.5	78.3	78.6	83	
5	保育園待機児童数	人	98	46	13	0	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 国は医療費を抑制するため、診療報酬の引き下げなどの政策を行ってきたが、杉並区の状況として、国保一人当たりの医療給付費(地域差指数)は、老人割合が高く、老人保健医療費拠出金が年々上昇する結果となっている。増加する医療給付費の適正化を図るため、予防重視の観点からメタボリックシンドロームを焦点とした生活習慣病対策に重点をおき、医療データ(画像レセプト)を効果的に活用しながら健診・保健指導を強化し、中長期的に医療費の伸びを抑制する。
- 既存施設のスロープ、自動ドアが整備されたことにより、指標値は僅かながら高くなった。施設の種類によって整備の優先項目が異なることや区立施設の民間委託が進むことにより、指標値の明確な目標設定は難しい。
- 特別養護老人ホームの入所者平均待機期間は、「入所型施設」として都市型多機能拠点を1か所、認知症高齢者グループホームを3か所整備し、また、施設運営者がサービスを受ける必要性が高いと認められる入所申込者を優先的に入所させたため、減少傾向となり、目標まではあと僅かとなった。
- 第38回区民意向調査によると65歳以上で生きがいを感じている人の割合は前年より0.3%と微増となっている。しかし、70歳以上で生きがいを感じている人の割合が、昨年81.2%から76.2%と5%減少しており、男女ともに減少しているが、特に男性は84.5%から73.7%と10.1%減少している。このことから65歳から69歳までの生きがいを感じている人の割合は上昇しているが、70歳以上の人で数値を落としているという結果が出ている。
退職が社会貢献活動を始めきっかけとなっている男性は35.84%となっている(高齢者の社会参画に関する政策研究報告書:NPO調査編)ことから、仕事をいきがいとしていたリタイア後の男性が参加したいと考える社会貢献活動を拾い上げる工夫が必要である。
- 認可保育所、認証保育所等の入所定員は、19年度当初の入園に向け、18年度中に79名拡大した(認可保育所5,070人 5,119人、認証保育所244人 274人)。また、待機児童数は、33名減少(46人 13人)したものの、保育需要は引き続き高い水準にある。なお、対象となる就学前の児童数は横ばい(19,634人 19,691人:57人増)であった。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	国民健康保険一人当たり医療費	平成17年度実績では、杉並区の地域差指数は0.937と23区で最も低い数値を示している。一般被保険者のみで見ても0.905と23区では北区について2番目、老人保健医療費拠出金ベースでは、1.011で練馬区・葛飾区・江戸川区について4番目に位置している。また、10万人を超える被保険者数を有する多摩地区と比較すると、被保険者数が約19万人の八王子市の地域差指数は0.936、同じく約14万人の町田市は0.931である。
	国民健康保険一人あたり医療給付費 (地域差指数 = 全国平均を1とする) (計算式) = 実績給付費(一般被保険者の給付費 + 老人保健医療費拠出金) / 基準給付費(全国平均一人あたり医療給付費から得た給付費 + 基準老人保健医療費拠出金)	
2	公共施設のバリアフリー度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 区立施設は、不特定多数が利用する施設(体育館、敬老会館、児童館、集会施設等)のみを対象とした。 スロープ:135/172 = 78.5%、自動ドア:103/172 = 59.9%、障害者トイレ:105/172 = 61.0%。その他の事項の整備状況は「いってきまっぴがホームページ」で公開・更新している。
	公共施設(区立施設)において、スロープ・自動ドア・障害者用トイレの全てを備えている建物	
3	特別養護老人ホームの入所者平均待機期間	定義も含めて公表している自治体はないため、比較は困難。
	特別養護老人ホームに入所した人のうち、申し込みから入所までに要した待機期間の平均月数。ただし、14年度までは、原則として、申込み順となっている。	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	練馬区(17年高齢者基礎調査) 現在の生活に満足しているか:前期高齢者61.6%・75歳以上65.2%が満足していると答えている。 江東区(17年区政世論調査) いきがいを感じている:56.8%となっている。 内閣府「高齢者の社会参加の促進に関するアンケート調査」(17年) NPO活動に参加した理由の中に、自分自身の生きがいのため67.7%とある。
	65歳以上のうち「あなたは、いま生きがいを感じていますか」に「はい」と回答した人の割合	
5	保育園待機児童数	東京都23区の待機児童数 2,674人(平成18年4月1日) 2,451人(平成19年4月1日)
	翌年度4月1日の待機児童数	
特記事項		